

**第37回オホーツク管内サッカースポーツ少年団大会 兼
全道フットサル選手権大会 2019 U-12の部 オホーツク地区予選大会
開催要項**

1. 名 称 第37回オホーツク管内サッカースポーツ少年団大会 兼
全道フットサル選手権大会 2019 U-12の部 オホーツク地区予選大会
 2. 主 催 オホーツク地区サッカー協会第4種委員会
 3. 主 管 紋別サッカー協会
 4. 期 日 平成30年12月8日(土)、9日(日)
 5. 会 場 紋別市スポーツセンター
 6. 参 加 資 格 (1) フットサルチームの場合
 - ① 2018年度公益財団法人日本サッカー協会に「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加
 - ② 前項のチームに所属する2006年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。(2) サッカーチームの場合
 - ① 2018年度公益財団法人日本サッカー協会に「4種」または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
 - ② 前項のチームに所属する2006年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。(3) 複数チームによる「合同チーム」の本大会参加については、上記(1)又は(2)における参加資格を満たしている場合において認めることとする。ただし、合同チームの複合参加については不可とする。
 - (4) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
 - (5) 本地区予選において、選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
 - (6) 下記、本大会フットサル登録料を地区協会へ納入完了していること。
 - ① フットサルチームの場合 登録料2,000円
 - ② サッカーチームの場合 登録料4,000円
7. 競 技 規 則 大会実施年度の(公財)日本サッカー協会フットサル競技規則による。ただし、以下の項目については、本大会の規定を定める。
 - (1) ピッチ
 - ・ 大きさ:サイズは原則として、32m×16m
 - ・ センターサークル:半径2.5m
 - ・ ペナルティエリア四分円の半径:5m
 - ・ ペナルティマーク:5m
 - ・ 第2ペナルティマーク:8m
 - ・ 交代ゾーンの長さ:4m
 - (2) 守備側競技者のボールから離れる距離
 - ・ フリーキック:4m
 - ・ コーナーキック:4m
 - ・ キックイン:4m
 - (3) 使用球は、フットサル3号球とし、主催者で用意する。
 - (4) 競技者の数
 - ・ 競技者の数:5名
 - ・ 交代要員の数:10名以内
 - ・ ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数:2名以内
 - (5) ベンチに入ることのできる人数は14名以内(交代要員10名、役員4名以内)とする。
 - (6) 試合時間は、準決勝・決勝はプレーイングタイム、その他の試合はランニングタイムで計測する。
 - ① 1次ラウンド(予選リーグ戦)は20分間(前後半各10分間)とし、ハーフタイムのインターバルは3分間(前半終了から後半開始前まで。)とする。
 - ② 決勝ラウンド(トーナメント戦)は24分間(前後半各12分間)とし、ハーフタイムのインターバルは3分間(前半終了から後半開始前まで)とする。
 - (7) 代表決定戦では、6分(前後半各3分)の延長戦(後半終了から延長戦開始までのインターバル3分)を行う。それでも決しない時は、PK方式(3人)により勝者を決定する。

8. 競技方法 (1) 参加チームによる1次ラウンド、決勝ラウンドを行う。
- (2) 大会1日目は、1次ラウンド（予選リーグ戦）を行う。1次ラウンドの順位決定方法は、勝ち点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝ち点は、勝ち3、引分1、負け0とする。ただし、勝ち点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
- ①当該チーム内の対戦戦績
 - ②当該チーム内の得失点差
 - ③当該チーム内の総得点数
 - ④グループ内の総得失点差
 - ⑤グループ内の総得点数
 - ⑥PK方式(1チーム3人による3本ずつのキックで行う。)
- (3) 大会2日目は決勝ラウンド（トーナメント戦）を行う。決勝ラウンドでは、試合終了の時点で勝敗が決しない場合はPK方式(3人)により次回戦へ進出するチームを決定する。ただし、代表決定戦(優勝・準優勝決定戦)のみ6分間(前後半各3分間)の延長戦を行い、なお勝敗が決定しない場合はPK方式(1チーム3人による3本ずつのキックで行う。決しないときは一方のチームが他方より多く得点をあげるまで行う)により勝敗を決定する。
- (4) 大会2日目は決勝ラウンドの他に、決勝ラウンドに出場しないチーム同士によるフレンドリーマッチを行う。(但し、試合数に限りあり。)
- (5) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したとみなす。
- (6) 延長戦に入る前のインターバルは3分間とする。
- (7) PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
- (8) 準決勝、決勝のみタイムアウトを適用する。
- (9) 本大会優勝チームは北海道大会への出場を義務付ける。
※平成31年2月16日(土)～17日(日)
9. 懲 罰 (1) 本大会期間中、警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
- (2) 予選リーグにおける警告1回は、決勝トーナメントに持ち越さない。
- (3) 本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律・フェアプレー委員会（委員は4種委員長が選任）で決定する。
10. 大会日程 (1) 代表者・審判員会議 12月8日(土) 午前8時10分 ※いつもより少し早めていますので
- (2) 開会式 12月8日(土) 午前8時40分 時間厳守でお願いします。
※参加可能チームは出席すること。
※各チームは試合時間に間に合うように集合すること。
- (3) 試合開始 12月8日(土) 午前9時00分
- (4) 閉会式 12月9日(日) 午後4時30分(予定)
※成績上位4チームは必ず出席すること。
11. 組 合 せ (1) 抽選日 平成30年11月18日(日)
- (2) 第4種委員長立合いのもと、事務局で厳正に抽選し結果を通知する。
- (3) トヨタカローラ北見大会ベスト8のチームにはシード権を与える。
※ただし大会参加チーム数に基づいて組み合わせを決定するため、シードされないチームが出てくることもありうる。
12. 帯同審判員 (1) 出場チームは公認フットサル審判員を1日目は2名以上（そのうち、少なくとも3級1名以上）帯同させること。
大会2日目については、3級以上を1名以上帯同させること。
- (2) 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたる。
- (3) 帯同できない場合は、不帯同料として1名につき4,000円を大会参加料と同時に納入すること。
13. 競技者の用具 (1) ユニフォーム
- ① フィールドプレイヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。
 - ② チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
 - ③ その他のユニフォームに関する事項については、(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に則る。
- (2) 靴
キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色もしくは無色透明のフットサル用シューズのみ使用可能とする(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない)。
- (3) ビブス
交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

14. 参加申込
- (1) 参加チームは下記の期日までにEメールにて申込みすること。
 - (2) 参加料8,000円及びフットサル登録料2,000円（サッカーチームは4,000円）は、大会当日受付時に納入すること。
 - (3) 1次申込 11月16日(金) 午後7時まで(大会参加の有・無及び帯同審判員)
2次申込 11月23日(金) 午後7時まで(メンバー票)
 - (4) 大会不参加のチームは、期日までにその旨を大会事務局に報告すること。
 - (5) 申込先《電子メールでの申込とする》
網走地区サッカー協会第4種委員会事務局
担当 紋別ドルフィンズ 塚 秀弘
PCアドレス hide_3410@lemon.plala.or.jp
携帯電話 090-3394-7287
15. 負傷及び事故の責任
- (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。
 - (2) 選手はスポーツ保険または、それに準じた保険に加入していること。
16. その他
- (1) メンバー用紙については、各チームにおいて事務局から送付された自チームのメンバー用紙3枚1組を1部として試合数分の部数を印刷し、試合開始15分前迄に1部提出すること。
 - (2) 各チームともスポーツ傷害保険に加入すること。
 - (3) ゴミ等は、各チームで責任をもって持ち帰ること。
 - (4) 路上駐車及び駐車場の通路への駐車は厳禁とする。
 - (5) 参加選手の持物については氏名とチーム名を記入し、忘れ物がないように周知・徹底すること。
 - (6) 交代要員は、交代の直前を除きユニフォームと異なる色のビブスを着用すること。交代のためにベンチに戻る競技者に交代要員がビブスを手渡すこと。ビブスを投げ渡すなどして交代した交代要員は、交代の進め方に違反していると判断され、警告される。
 - (7) 荒天・震災・暴風雪、不測の事態が発生した場合は本大会事務局において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあるので留意の事。
 - (8) 試合中、当該チーム以外のピッチ内の使用は認めない。
 - (9) 試合前後の空き時間を利用したピッチ内の使用は認めない。ただし、キックオフまでの時間に余裕があり、当該試合の審判団がピッチの使用を認めた場合は、この限りではない。